

ロシア為替週報

2021 年 8 月 9 日 | みずほ銀行欧州資金部

MIZUHO

<過去 1 週間の動き>

(7 月 31 日～8 月 6 日)

USD/RUB: 72.700～73.500

過去 1 週間のロシア・ルーブル相場は、頭打ちの先行から軟調に推移。週末(31 日)発行された英紙のインタビューで、ロシア中銀ナビウリナ総裁が「物価誘導目標を(現在の+4%から)+2%、若しくは+3%に引き下げる可能性を 9 月に検証する」と述べたことは、(誘導目標が引き下げられなかった場合との比較で)より積極的な金融引き締めやその長期定着を促す鷹派の発言と解釈することができた。材料としてはルーブル押し上げ要因と読めたはずだが、週明け以降、ルーブルは方向感に乏しい小動き。今になって日足を見ると、むしろ軟調気味に推移していたように見えた。並行して、ルーブル建ロシア国債(OFZ)が軟調に転じた(利回りはじわじわ上昇)のが、同総裁発言を受けた反応だった可能性は考えられた。一方で、ロシア短期金利が明確な低下を見せたのは、納税などに伴う、7 月末に向けたルーブル流動性の極端な枯渇が解消に転じた結果と見られた。OFZ の利回り上昇も、短期金利の低下も、金利のベクトルは正反対だが、いずれもルーブル軟調に寄与する要因と言えただろう。更に、週引けにかけては、週次の新規失業保険申請件数(5 日)、7 月比農業部門雇用者数(6 日)などの米雇用関連指数が市場予想を上振れ、全般的なドル高を招いたことも、ルーブル下押しの要因となった。原油価格が、明確に下押しを先行させたことは、或いは週前半のルーブル軟調推移に影を落としていたかもしれないが、5 日に前後し、原油価格反発とルーブル下落が並行した値動きを振り返ると、この間も、原油とルーブルの連動は低かったように思われた。

<過去 1 週間に発表された主要経済指標等>

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
8/6	10:15	国民福祉基金(USD)	7 月	188.1bn		187.6bn
	13:00	外貨準備高(USD)	7 月	601.0bn	597.4bn	591.7bnr
	16:00	CPI(前年比)	7 月	+6.5%	+6.6%	+6.5%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

<向こう 1 週間の見通し>

(8 月 7 日～8 月 13 日)

USD/RUB: 73.00～73.80

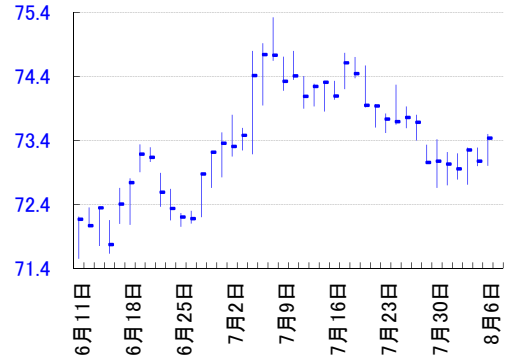
向こう 1 週間のロシア・ルーブル相場は、堅調を予想。過去 2 週間、ルーブルの値動きにロシア要因が与えた影響は限定的に見えた。主要通貨市場でも、注目されるのは専ら米連銀や英中銀の金融政策動向だった。しかし、物価誘導目標引き下げに関する上述ナビウリナ総裁の発言を、ルーブルは軽視すべきでないように思われる。6 日発表されたロシア 7 月 CPI は、前年比+6.5%と前月から横ばいで、市場予想を小幅下回った。しかし、同コア CPI は前年比+6.8%と予想(同+6.7%)を上回り、約 5 年ぶり高水準を記録。足元物価動向としては交錯した内容を示した。その結果、ロシア中銀による 9 月追加利上げ(+25b.p.)を見込む市場の読みは変わらないようだ。金利先渡契約(FRA)市場では、更に、年内/来年前半までにもう一回(+25b.p.)の追加利上げも織り込まれている。ロシア中銀の金融政策動向が、通貨市場であまり材料視されないのは、既に 2 ヶ月ほど前から、こうした利上げの織り込みが概ね進んでしまっていたからと思われる。しかし、ナビウリナ総裁の示唆は、「ゴールポスト」を動かすもので、今後の金融政策運営を根本から揺るがしかねないものと言える。勿論、検討が始まるからと言って、例えば、来年から一気に誘導目標を+2%に引き下げるといような性格のものではないはずだが、中期的に、政策金利に上昇圧力をかけるのは間違いない。逆に、それが物価安定を通して、OFZ の取引水準を根本的に引き上げる(利回りは低下)ことになるのであれば、それもまた、投資家からのルーブル需要を根本的に高める要因にもなり得るはず。

<向こう 1 週間に発表予定の主要経済指標等>

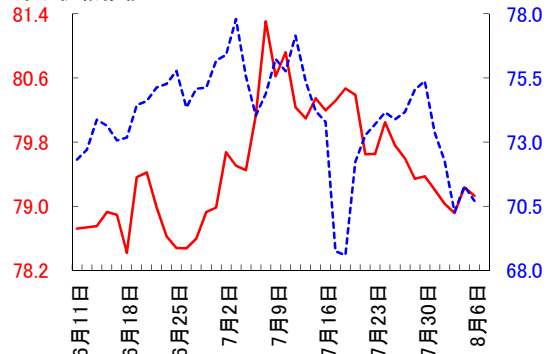
月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
8/11	13:00	貿易収支(USD)	6 月	+12.0bn		+10.2bn
8/11-8/13		財政収支(RUB/年初来)	7 月	+957.0bn		+625.9bn
8/13	16:00	GDP(前年比)	Q2 A	+9.6%		-0.7%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

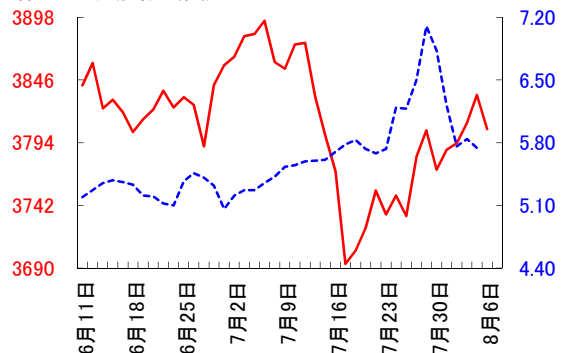
USD/RUB の推移 (日足/ロンドン 7:00～17:00)



株ルーブル/バスケット推移 (ロシア中銀公示)
原油価格推移 (ブレント直物)



株式/金利相場の推移 (MOEX 指数/当翌物金利)



(資料: ロシア中銀/ロイター/ブルームバーグ)

ロシア関係主要経済指標

1 週間物入札金利		6.50%
成長率(GDP/前年比)	Q1	-0.7%
失業率	6 月	4.8%
消費者物価(前年比)	7 月	+6.5%
小売売上高(前年比)	6 月	+10.9%
鉱工業生産(前年比)	6 月	+10.4%
貿易収支(USD)	5 月	+10.2bn

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。